

花と木・緑化の状況図(令和2年3月末現在)

花

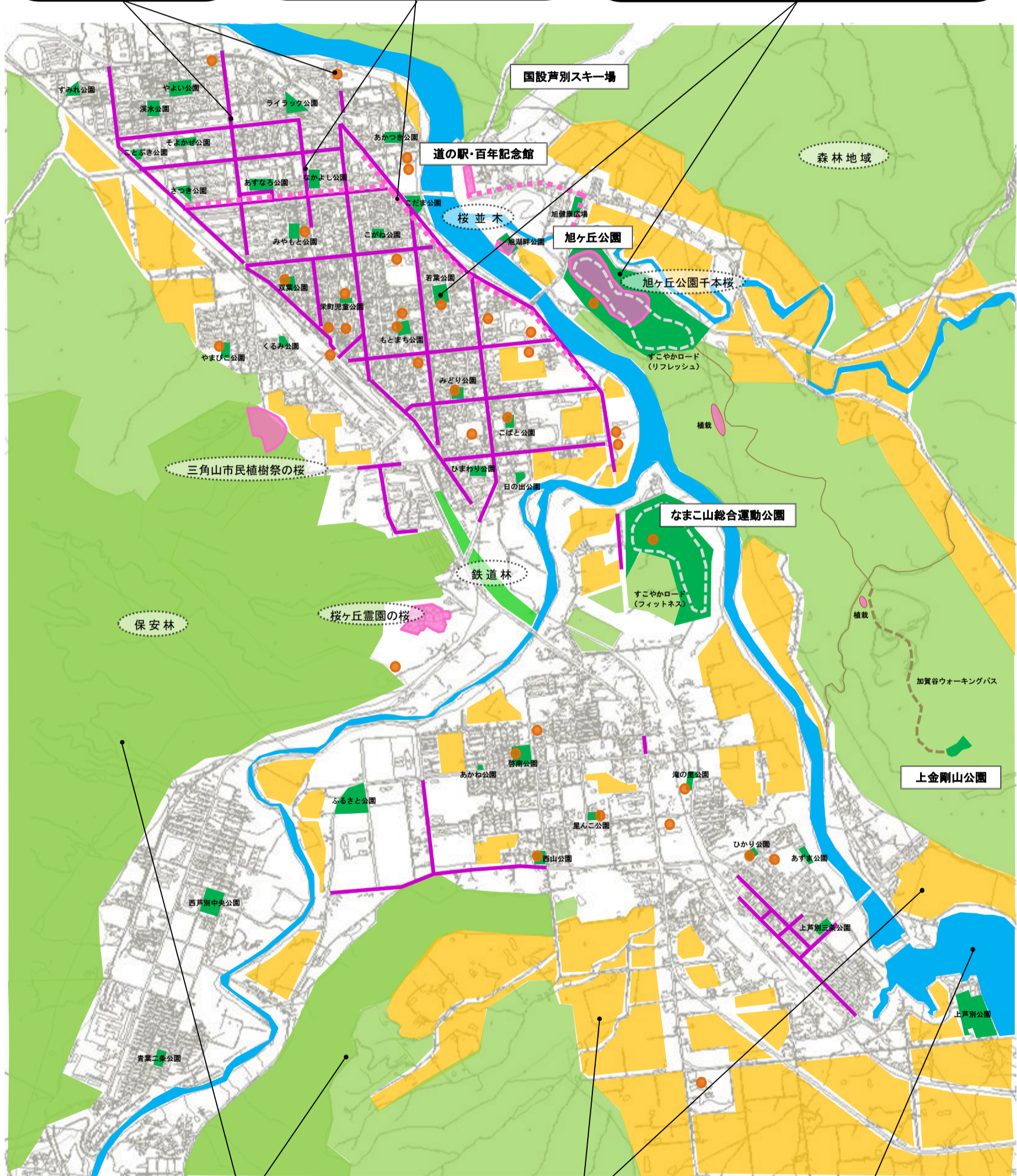
花いっぱい運動により、市内市街地の国道・道道・市道の植樹帯約1,900箇所と公共施設の花壇約40箇所に、約4万5千株の花を毎年5月下旬に植栽している。

木

市街地に整備された都市計画道路約30kmの植樹帯には、イチヨウが約千本のほかカタスギ、ナナカマド、ハルニレなどの高木が全体で約3千本植栽されている。
また、国道38号芦別バイパスや452号の一部、市道北大通には桜を植栽し並木としている。

公園

市内の公園は都市公園38箇所、自然公園7箇所、普通公園11箇所となっている。
郊外にある三段滝公園や夫婦滝公園、空知大滝公園などの景観名勝地や、サル山や桜の名所である旭ヶ丘公園、さらに市街地の都市公園は市民の憩いの場として重要な緑地スペースとなっている。



森林

市街地の周辺には国有林、道有林や民有林など森林地域が広がっており、芦別市全体面積865km²の約88%を占めている。
また、その約6割が針葉樹となっているほか、JR根室本線沿いの一部にはトドマツの鉄道林も植栽されている。

農地

市街地周辺と郊外の河川沿いには、水田等の農地が広がっており、春夏は緑、実りの秋には黄金色の景色を楽しむことができる。

河川

市内市街地を流れる一級河川空知川とその支流である芦別川、ペンケ幌内川など91河川を有しており、河畔林やダム湖など良好な自然環境が残る森林地や水辺がある。